



2023 S-FJ Japan League



JAF 鈴鹿・岡山スーパーFJシリーズ 2023 OKAYAMA チャレンジカップ レース

2023年 8月 19-20日 天候:晴れ/ドライ 参加18台



スーパーFJ ジャパンリーグの第5大会は鈴鹿・岡山シリーズ第5・6戦と併せて、8月19～20日に岡山国際サーキットで開催された。

真夏の岡山スーパーFJは1大会2レース開催で、さらにレース2はレース1の順位に基づき、トップ6のリバースグリッドとなるのが恒例。そのため、レース展開に一味加わることでお馴染みとなっている。

鈴鹿サーキットをホームコースとするドライバーが大半を占める中、今大会をデビューレースとするドライバーもあり、顔ぶれはいっそうフレッシュになった印象も。鈴鹿・岡山シリーズのポイントリーダーとして臨む白崎稜選手(TAKE FIRST スタッフリソース)がどんな走りを見せるのか、そして、シリーズ第4戦の鈴鹿でデビュー2戦目にしてポール・トゥ・ウィンを遂げた田中風輝選手(M2 engineering KK-SII)は異なるコースでも勢いを見せるのか？ また、初出場の三浦柚貴選手(LAPS レヴレーシング)はカートの経験は無いが、シミュレーターでの練習を重ねての参加になる。こうして、見どころが尽きない週末になりそうだ。

公式予選

公式予選は 19 日午前 8 時より行われた。岡山県には熱中症警戒アラートが発表されているが、早朝より雲が広がったため、比較的過ごしやすきはあった。予選は 15 分間で行われる予定だったが、開始から 5 分を経過したあたりで、3 周目を走行していた初参戦のルーキー堂園鷲選手(K デンタルオフィス☆ミスト)がミッショントラブルのためアトウツドのコース上で停止。このマシン回収のため赤旗が提示された。

予選は残り 7 分間で再開され、計測 5 周目には白崎選手が 1 分 38 秒 567 でトップに立ち、2 番手には村田悠磨選手(Rn-sports 制動屋 Vierueka)が 1 分 38 秒 590 で、3 番手には元山泰成選手(Ecotech Works)が 1 分 38 秒 790 で 3 番手につける。

計測6周目には元山選手が 1 分 38 秒 418 を叩き出し、一気にトップに浮上。白崎選手は 1 分 38 秒 438 までタイムアップしたものの 2 番手に後退した。

計測7周目には 1 分 38 秒 298 までタイムを縮めた白崎選手がトップを奪い返す。元山選手はタイムを更新できず、2 番手に後退。3 番手には田中選手が、1 分 38 秒 429 までタイムアップして滑り込んで来た。

予選はこのまま終了。ポールポジションは白崎選手が獲得し、2 番手は元山選手、3 番手は田中選手。4 番手に村田選手が、初参戦のシムレーサー三浦柚貴選手(LAPS レヴレーシング)が健闘して 5 番手に入り、6 番手で小川涼介選手(HIROTTEX M2 KK-SII)が続いた。

ポールポジション:白崎稜選手(TAKE FIRST スタッフリソース)

「タイム差が縮まっているので、なんとかしないとイケないです。後ろでスリップにつかかれていましたが、見ずに集中してタイムを出せばいいかなと思っていました。昨日、一昨日と雨だったので、ドライのテストがあんまりできていないんです。決勝は情報が少ない中で戦っていくので、なんとかしないとイケません。駆け引きで離せたらいいですね」



予選 2 番手:元山泰成選手(ECOTEH WORKS)

「イン側スタートなので、僕的にはいいかなと思います。クルマはリヤが出ていたので、それが抑えられていたら、もっと行けるかなという余裕はありました。前はスタートをミスして、それが痛かったので今回は落ち着いてスタートをし、明日もレースがあるので、クルマを壊さないようにゴールしたいです」



予選 3 番手 田中風輝選手(M2 engineering KK-SII)

「木、金の練習はドライで走ることができなくて、予選はぶっつけでドライだったので、正直タイムが出るかどうか分かりませんでした。3 番手なので優勝は狙えると思います。自分の出せる全力で戦います。スタートを決めて前に出られれば接戦になると思います」



決勝レース 1



決勝レース1は、太陽が高く昇り雲が掃けた酷暑のなか、土曜日の午前 11 時 35 分にフォーメーションラップが始まった。

ポールポジションの白崎選手は蹴り出しが鈍かったため、後続に並びかけられるも 1 コーナーではトップを死守。2 番手、3 番手には予選順位どおりに、元山選手と田中選手が続く。4 番手には、ひとつポジションを上げた三浦選手が、5 番手には小川選手が、6 番手には予選 7 番手から上がった板倉慎哉選手(AMORE TOKYO F レーシング)が続く。

トップ白崎選手が 2 周目に入って間もなく、ジャンプスタートに対する 10 秒のタイムペナルティがアナウンスされた。スタート前、レッドシグナル中にクラッチを踏んで待機していた時にマシンが動いたようだ。白崎選手自身も自覚があったようで、ピットから掲示された「10 秒」のボードを見て、このペナルティを知る事となる。

ここから白崎選手は 2 番手以下を突き放しにかかり、4 周目にはその差を 3 秒 2 まで広げた。5 周目には、田中選手がヘアピンで元山選手のインを刺し、2 番手に浮上。さらに元山選手には、徐々に三浦選手が接近してきた。

同じく 5 周目には、小川選手をとらえた板倉選手が 5 番手に浮上。しかし、8 周目には予選 12 番手から猛然と追いつけて来た高口大将選手(FTK・レヴレーシングガレージ)が、板倉選手の背後に迫る。レース2が 6 位までのリバースグリッドとなるため、板倉選手はあえて無理をせず、高口選手を前に出し順位を 6 番手に戻す。

8 周目、白崎選手は 5 番手を走る高口選手との差を 10 秒以上と広げ、実質 4 番手まで浮上した。しかし、高口選手と 4 番手の三浦選手の差は大きく、これ以上の上位進出は難しそうだ。

トップでゴールをしたのは白崎選手だったが、10 秒ペナルティがあるため 4 位に降格。今シーズン



からジャンプスタートに対するペナルティが、ドライビングスルーからタイム加算になったことに救われた格好だ。



優勝は 2 位でゴールした田中選手で、鈴鹿に続き 2 連勝。2 位には最後まで三浦選手を抑えきり、3 位でゴールした元山選手が入った。3 位に入った三浦選手はシミュレーター出身の 16 歳。デビューレースで表彰台に登った。

4 位は白崎選手、5 位は高口選手、そして 6 位は板倉選手が獲得。7 位にはデビューレースを予選のコースアウトによって最後尾からスタートしながら、激しく追い上げてきた堂園選手が入った。

優勝:田中風輝選手(M2 engineering KK-SII)

「3 番手からスタートしてうまく 2 番手に上がりましたが、トップと離れてしまったので、優勝は無理だと思いました。トップの人のペナルティで 1 位になれたので、結果としては良かったのかと思います。ゴールしてから優勝を知りました。次もトップになる勢いで頑張ります」

2 位:元山泰成選手(ECOTEH WORKS)

「予選ではオーバー気味にセットを振って、決勝は暑くなるのでセットを変えました。それがはまらなくてコンマ 5 くらいはタイムが落ちました。悔しいです。田中君は勢いがあるので上がってくると思っていました。バトルしても仕方ないので譲って、自分のペースで走りました」

3 位:三浦柚貴選手(LAPS レヴレーシング)

「初レースだったのでいろんなことが不安でした。スタートも行けるかなと思っていましたが、ホイールズピンしまくって普通に失敗しました。出遅れましたが、集団の中にとけこめて、細かいミスは多いですが大きなミスもなかったです。ペナルティで 3 番手に上がれましたが、そんなに嬉しくないです。16 歳で、カートは出ていなくてシミュレーターをしていました。シミュレーターのラリックロスはワールドレコードを更新しました」



決勝レース2（リバースグリッド制）

決勝レース 2 は、明けて 20 日、日曜日の午前 8 時 45 分にフォーメーションラップが始まった。岡山は早朝からほぼ快晴。今日も岡山県には熱中症警戒アラートが発表され、太陽は低いものの気温はぐんぐん上がり、酷暑のなかでスタートを迎えた。

スターティンググリッドは昨日の第 5 戦の結果で決定され、上位 6 人がリバースグリッドとなり、ポールポジションは板倉選手、2 番手は高口選手、3 番手は白崎選手、以下三浦選手、元山選手、田中選手の順となっている。

スタートでは昨日のジャンプスタートが頭をよぎったか、3 番手の白崎選手の動き出しが悪く、順位を落としそうになる。しかし、1 コーナーで大外狩りを決めてポジションをキープ。トップは板倉選手、2 番手は高口選手、3 番手は白崎選手の順で 1 コーナを通過。バックストレートからリボルバーでは高口選手が、白崎選手と田中選手に相次いでかわされ、4 番手に後退する。

1 周目のコントロールラインには、板倉選手、白崎選手、田中選手、高口選手、元山選手、三浦選手、堂園選手、宇高希選手（テイクファースト SAKURA）の順で戻ってきた。

2 周目のアトウッドでは、白崎選手が板倉選手をかわし、早くもトップに立つ。板倉選手はダブルヘアピンで田中選手にもかわされ 3 番手に落ちる。3 周目にも板倉選手は元山選手と堂園選手に抜かれ、5 番手まで後退。この間にトップ白崎選手は、2 番手に上がった田中選手との差を 1 秒 1 とする。



4 周目の 2 コーナー、後方集団でアクシデントが発生し、ここでセーフティーカー（SC）が導入された。SC は 8 周を終わって退き、レースは 9 周目から残り 4 周で再開された。

リスタートを決めた白崎選手は、田中選手との差を再び 1 秒 1 に広げて 9 周目に突入。10 周目、11 周目と田中選手がファステストラップを連発して追い上げるも、タイム差は大きく、コンマ 7 秒差まで迫るのがやっと。順位は変わらず、12 週のゴールを迎え、白崎選手が今季シリーズ 3 勝目を飾った。

元山選手は4番手に上がってきた堂園選手に背後を脅かされていたが、最後は突き放して3位は元山選手、そして4位は堂園選手が獲得した。序盤に5番手まで落ちたポールスタートの板倉選手だったが、そこからは粘り、この順位を譲らなかった。

終盤には高口選手と三浦選手、チームメイト同士の6番手争いが白熱。最終ラップの1コーナーから2コーナーで並走するが、先輩の意地を見せた高口選手が6位でゴールした。

この結果、ポイントを82まで伸ばした白崎選手がランキングトップを堅守。田中選手が57ポイントで2位に浮上、3位には47ポイントで元山選手がつけている。

ジャパンリーグのランキングは、白崎選手が14ポイントにまで伸ばしトップに浮上。この大会不参加の池田拓馬選手が13ポイントで2位に続き、このレースで11ポイントと荒稼ぎした田中選手が3位につけている。ジャパンリーグの最終戦は10月7日に富士スピードウェイにて開催される。



優勝:白崎稜選手(TAKE FIRST スタッフリソース)

「昨日のことがあったのでスタートが遅れました。でも1コーナーでアウトからまくって3番手のままでした。2周目にトップに出ましたが、田中くんが速いのは分かっているので、1周目のうちにトップに立ちたかったです。そこからセーフティーカーが出で、最後2、3周はニュータイヤを合わせきれず、若干タイムが落ちました。田中くんが迫ってきましたが、リスタートをうまく決めて逃げ切れたのが良かったです。次の鈴鹿2レースをしっかりと決めたいですね」

2位:田中風輝選手(M2 engineering KK-SII)

「6番手からのスタートでうまく決まって1周目で3台抜けたので、そこは良かったです。途中でSCが入って、そこでのリスタートが悪かったです。最後は追い上げましたが、ぎりぎり周回が足りなかったです。もうちょっと周回があればトップには立てました。でも最低限のことはできたと思います」

3位:元山泰成選手(ECOTEH WORKS)

「これが今の実力ですが、1位じゃないので素直には喜べないです。思ったより路面もグリップせず、アンダー気味でした。堂園くんが追い上げてきてミラーで見えていたんですが、自分のペースで落ち着いて走りました。最後は堂園くんもしんどそうでした。3位なので次にはつながるかなと思います」



2023 OKAYAMAチャレンジカップレース 第5戦
 JAF地方選手権 スーパーFJ鈴鹿・岡山シリーズ 第5戦・第6戦 (Super FJ ジャパンリーグ Rd. 5)
第5戦 公式予選 正式結果

主催：株式会社岡山国際サーキット/アイダクラブ (AC)

スタート時間：8:00:00

チェッカー時間：8:18:00

2023.08.19 発表 9:28

天候：曇り

コース状況：ドライ

岡山国際サーキット 3.703km

順位	セク	ドライバー	モデル	車名	ベストタイム	トップ差	Gap	周回	%	ベスト時刻
1	91	白崎 稜	KK-SII	TAKE FIRST スタッフリソース	1'38.298			8/9	99.914	08:17:55
2	1	元山 泰成	KK-SII	Ecotech Works	1'38.418	0.120	0.120	7/9	100.036	08:16:17
3	2	田中 風輝	KK-SII	M2 engineering KK-SII	1'38.429	0.131	0.011	8/9	100.048	08:17:57
4	11	村田 悠磨	KK-SII	Rn-sports制動屋Vlaureka	1'38.590	0.292	0.161	6/8	100.211	08:14:43
5	6	三浦 柚貴	KK-SII	LAPSレヴレーシング	1'38.727	0.429	0.137	8/8	100.351	08:18:08
6	12	小川 涼介	KK-SII	HIROTEX M2 KK-SII	1'38.780	0.482	0.053	9/9	100.404	08:19:38
7	55	板倉 慎哉	KK-SII	AMORE TOKYO フレーシング	1'38.940	0.642	0.160	9/9	100.567	08:19:31
8	17	百瀬 翔	KK-SII	Rn-sports・制動屋&KMR	1'39.098	0.800	0.158	6/8	100.728	08:14:44
9	23	宇高 希	RD10V	テイクファースト SAKURA	1'39.176	0.878	0.078	9/9	100.807	08:19:29
10	0	池野 雄人	KK-SII	LAPS	1'39.240	0.942	0.064	8/8	100.872	08:18:12
11	57	吉田 宣弘	KK-SII	EXTREEME★MYST★KKS-II	1'39.288	0.990	0.048	8/8	100.921	08:18:01
12	7	高口 大将	KK-SII	レヴレーシング KK-SII	1'39.362	1.064	0.074	8/8	100.996	08:18:25
13	81	妹尾 俊郎	RD10V	SSEC★KRS★10V	1'39.414	1.116	0.052	8/8	101.049	08:18:06
14	47	山根 一人	KK-SII	HKR TK-Sport MYST	1'39.689	1.391	0.275	7/7	101.328	08:18:27
15	22	中川 賢太	KK-SII	ギディアップKKS2セキグチ	1'39.917	1.619	0.228	8/8	101.560	08:18:22
16	15	梅本 幸汰	KK-SII	Rn-sports制動屋KK-S2	1'40.588	2.290	0.671	8/8	102.242	08:19:00
17	21	太田 浩	KK-SII	ミスト・セキグチ・制動屋	1'40.607	2.309	0.019	6/7	102.261	08:16:41
18	56	堂園 鷺	KK-SII	Kデンタルオフィス☆ミスト	1'40.840	2.542	0.233	2/2	102.498	08:03:44

----- 以上予選通過基準タイムクリア -----

本予選は、開始5分53秒時点で赤旗提示。残り7分間で再開した。

予選通過基準タイム (130%) 2'07.897

参加台数：18台 出走台数：18台

2023 OKAYAMAチャレンジカップ レース 第5戦

JAF地方選手権 スパ- FJ鈴鹿・岡山シリーズ 第5戦・第6戦 (Super FJ シャンピオンリーグ Rd. 5)

第5戦 決勝 正式結果

主催：株式会社岡山国際サーキット/イタクラブ (AC)

スタート時間：11:38:33

チェッカー時間：11:58:21

2023.08.19 発表 14:07

天候：曇り

コース状況：ドライ

岡山国際サーキット 3.703km

順位	車番	ドライバー	モデル	車名	周回	所要時間	km/h	トップ差	ベストタイム	周回
1	2	田中 風輝	KK-SII	M2 engineering KK-SII	12	19'53.469	134.037		1'38.369	11
2	1	元山 泰成	KK-SII	Ecotech Works	12	19'57.021	133.640	3.552	1'38.843	7
3	6	三浦 柚貴	KK-SII	LAPSレヴレーシング	12	19'57.327	133.606	3.858	1'38.811	7
4	● 91	白崎 稜	KK-SII	TAKE FIRST スタッフリソース	12	19'57.995	133.531	4.526	1'38.237	11
5	7	高口 大将	KK-SII	レヴレーシング KK-SII	12	20'01.356	133.158	7.887	1'38.898	4
6	55	板倉 慎哉	KK-SII	AMORE TOKYO フレーシング	12	20'02.563	133.024	9.094	1'39.101	10
7	56	堂園 鷲	KK-SII	Kデンタルオフィス☆ミスト	12	20'03.563	132.913	10.094	1'38.893	12
8	23	宇高 希	RD10V	テイクファースト SAKURA	12	20'04.354	132.826	10.885	1'38.936	12
9	12	小川 涼介	KK-SII	HIROTEX M2 KK-SII	12	20'05.410	132.710	11.941	1'39.276	11
10	0	池野 雄人	KK-SII	LAPS	12	20'05.826	132.664	12.357	1'39.257	12
11	17	百瀬 翔	KK-SII	Rn-sports・制動屋&KMR	12	20'06.081	132.636	12.612	1'39.039	11
12	57	吉田 宣弘	KK-SII	EXTREEME☆MYST☆KKS-II	12	20'07.687	132.459	14.218	1'39.213	12
13	81	妹尾 俊郎	RD10V	SSEC☆KRS☆10V	12	20'09.488	132.262	16.019	1'39.535	12
14	47	山根 一人	KK-SII	HKR TK-Sport MYST	12	20'11.392	132.054	17.923	1'39.648	8
15	22	中川 賢太	KK-SII	ギディアップKKS2セキグチ	12	20'11.784	132.012	18.315	1'39.691	6
16	15	梅本 幸汰	KK-SII	Rn-sports制動屋KK-S2	12	20'17.910	131.348	24.441	1'40.037	11
17	21	太田 浩	KK-SII	ミスト・セキグチ・制動屋	12	20'18.519	131.282	25.050	1'39.994	12
				——以上完走——						
	11	村田 悠磨	KK-SII	Rn-sports制動屋Vieureka	0				12Laps	

完走周回数 10Laps

●セクンNo. 91は、2023 OKAYAMAチャレンジカップ レース 特別規則 第9章 第31条 3. ⑥ (反則スタート) により、決勝結果に10秒を加算した。(11:41)

参加台数：18台 出走台数：18台

ベストラップ：91 白崎 稜 1'38.237 11/12 135.700km/h

2023 OKAYAMAチャレンジカップレース 第5戦
 JAF地方選手権 スーパーFJ鈴鹿・岡山シリーズ 第5戦・第6戦 (Super FJ シャンプリーグ Rd. 5)
第6戦 決勝 スタートイングリッド

主催：株式会社岡山国際サーキット/アイダクラブ (AC)
 2023.08.19 発表 16:51

岡山国際サーキット 3.703km

33
21
km
回

1位 板倉 慎哉
55 KK-SII AMORE TOKYO Fレーシング

3位 白崎 稜
91 KK-SII TAKE FIRST スタッフリソース

5位 元山 泰成
1 KK-SII Ecotech Works

7位 堂園 鷲
56 KK-SII Kデンタルオフィス☆ミスト

9位 小川 涼介
12 KK-SII HIROTEX M2 KK-SII

11位 百瀬 翔
17 KK-SII Rn-sports・制動屋&KMR

13位 妹尾 俊郎
81 RD10V SSEC☆KRS☆10V

15位 中川 賢太
22 KK-SII ギディアップKKS2セキグチ

17位 太田 浩
21 KK-SII ミスト・セキグチ・制動屋

2位 高口 大将
7 KK-SII レヴレーシング KK-SII

4位 三浦 柚貴
6 KK-SII LAPSレヴレーシング

6位 田中 風輝
2 KK-SII M2 engineering KK-SII

8位 宇高 希
23 RD10V テイクファースト SAKURA

10位 池野 雄人
0 KK-SII LAPS

12位 吉田 宣弘
57 KK-SII EXTREEME☆MYST☆KKS-II

14位 山根 一人
47 KK-SII HKR TK-Sport MYST

16位 梅本 幸汰
15 KK-SII Rn-sports制動屋KK-S2

18位 村田 悠磨
11 KK-SII Rn-sports制動屋Vieureka

11
7
7
11
4
10
12
12
11
12
11
12
8
6
11
12

参加台数：18台

2023 OKAYAMAチャレンジカップ レース 第5戦
 JAF地方選手権 スーパーFJ鈴鹿・岡山シリーズ 第5戦・第6戦 (Super FJ シュパァンリーグ Rd. 5)
 第6戦 決勝 正式結果

順位	車番	ドライバー	モデル	車名	周回	所要時間	km/h	トップ差	ベストタイム	周回
1	91	白崎 稜	KK-SII	TAKE FIRST スタッフリソース	12	24'42.310	107.919		1'38.475	3
2	2	田中 風輝	KK-SII	M2 engineering KK-SII	12	24'43.163	107.857	0.853	1'38.351	11
3	1	元山 泰成	KK-SII	Ecotech Works	12	24'45.404	107.694	3.094	1'38.894	3
4	56	堂園 鷲	KK-SII	Kデンタルオフィス☆ミスト	12	24'45.897	107.659	3.587	1'38.970	11
5	55	板倉 慎哉	KK-SII	AMORE TOKYO フレーシング	12	24'49.748	107.380	7.438	1'39.756	11
6	7	高口 大将	KK-SII	レヴレーシング KK-SII	12	24'51.324	107.267	9.014	1'39.345	3
7	6	三浦 柚貴	KK-SII	LAPSレヴレーシング	12	24'51.439	107.259	9.129	1'39.212	3
8	12	小川 涼介	KK-SII	HIROTEX M2 KK-SII	12	24'52.839	107.158	10.529	1'39.450	11
9	23	宇高 希	RD10V	テイクファースト SAKURA	12	24'53.344	107.122	11.034	1'39.706	11
10	57	吉田 宣弘	KK-SII	EXTREEME☆MYST☆KKS-II	12	24'53.625	107.102	11.315	1'39.453	11
11	22	中川 賢太	KK-SII	ギディアップKKS2セキグチ	12	24'57.369	106.834	15.059	1'40.112	11
12	81	妹尾 俊郎	RD10V	SSEC☆KRS☆10V	12	24'58.256	106.771	15.946	1'40.119	11
13	0	池野 雄人	KK-SII	LAPS	12	24'58.386	106.761	16.076	1'39.425	11
14	21	太田 浩	KK-SII	ミスト・セキグチ・制動屋	12	24'59.459	106.685	17.149	1'40.301	12
15	15	梅本 幸汰	KK-SII	Rn-sports制動屋KK-S2	12	25'05.270	106.273	22.960	1'41.421	10
---以上完走---										
	17	百瀬 翔	KK-SII	Rn-sports・制動屋&KMR	3	5'11.687	128.309	9 Laps	1'40.657	2
	11	村田 悠磨	KK-SII	Rn-sports制動屋Vieureka	3	5'12.166	128.113	9 Laps	1'39.686	3
	47	山根 一人	KK-SII	HKR TK-Sport MYST	3	5'13.345	127.631	9 Laps	1'40.980	3

本決勝レースは、4周目にセーフティカーを導入し 8周目に離脱した。

完走周回数 10Laps

参加台数：18台 出走台数：18台

ベストラップ： 2 田中 風輝 1'38.351 11/12 135.543km/h

